

# 放課後等デイサービス自己評価結果(公表)

公表:2021年12月25日

事業所名:ロザリオ発達支援センター ふたば保育園

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制設備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○			・法令に則ったスペースは確保しているが、車椅子の子の利用も多く、もう少し広さがあるよ良い。 ・車椅子から降りて安心して過ごせる部屋が欲しい。
	② 職員配置数は適切であるか。	○			・法令に則った職員配置ではあるが、送迎等については、他部署からの協力を得ている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○			・スロープ等の設置はされている。
業務改善	④ 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	○			・月一回の全体会議やケース会議を活用して職員全体で情報を共有、統一した支援に努めている。 ・時間の確保が難しいが、朝夕の少しの時間を見つけて話し合うようにしている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			・集計結果をみて、できることから改善に向けて、職員間で話し合っている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか。	○			・法人のホームページにて公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			・平成31年度に第三者評価を実施している。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			・コロナ禍で、リトでの研修が行われるようになったことで、参加しやすくなっている。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行うい、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			・定期的にモニタリングを実施しニーズを聞き取っている。 ・面談、連絡ノートや送迎時に情報を得て計画立案している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			・季節に合わせたプログラムなどを取り入れている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。		○		・長期休みは、職員で話し合い事前に計画を立て活動を提供している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			・その日の利用児と職員を確認した上で、活動を提供している。 ・現職員配置では個別活動の実施は難しい。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			・朝のミーティングを行い、活動内容を全職員で確認している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・その日にあった問題や気づいた点は、その日に職員間で共有している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・記録やミーティングの場で話し合い改善策を考えている。 ・その都度、職員同士で話し合い、支援内容等検討している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			・半年に一回のモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			・できるだけ色々な活動を取り入れるようにしている。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			・会議が行われる場合には、児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○			・手紙・メール等でやり取りしている。 ・ご家族のお迎え時に連絡等のやり取りをしている。
	22	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。		○		・ご家族を介しての連絡となっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供等しているか。			○	・今年度より放課後等デイサービス事業を開始したため、該当される利用児がいない。今後、対象となる利用児がいた際には情報提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			・現在は実施していない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。			○	・今年度は、コロナの影響で、交流ができていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。			○	・同事業所内の相談系の職員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・お迎え時に、その日の様子を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。			○	・ニーズがあれば相談系の協力を得て、実施に向け検討していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等にに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			・送迎時、あるいはモニタリング時等に相談を受けることがあり、その都度受けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	・保護者会は設けていない。 ・お迎え時に保護者同士が情報交換している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			・何かあった場合、上司に報告を行っている。 ・苦情があったら、職員間で改善方法を話し合う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			・毎月の利用予定表で活動を知らせている。
	35	個人情報に十分注意しているか。	○			・十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			・利用児童に合わせて、できるだけ言葉だけでなく視覚的にわかるように絵カードなどを使っている。また、言葉は短く、わかりやすい言葉に努めている。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・コロナ禍であり実施していない。
	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			・各種マニュアルを事業所内で回覧・掲示、配布している。 ・今後、保護者に周知していく予定である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・年間を通して計画的に防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			・研修会に参加して周知のための報告会を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			・事前に保護者に説明をして、理解を得た上で計画を作成している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			・医師との連携はとれていない。 ・家族から伺っている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			・事例集は作成していないが、報告書を作成し、事業所内で回覧している。	

※この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。